

所報 いぶり

胆振教育研究所

第1号

令和元年6月28日発行



所長挨拶

今年度も胆振教育研究所所長を務めることになりました登別市立若草小学校長の土井です。本研究所の使命は、胆振の教育の充実・発展に寄与するために、胆振管内の小中学校の教育課題を把握し、現場の先生方の授業改善や資質・能力の向上につながる教育理論と授業実践に関する研究を発信していくことです。

そのために、今年度も胆振管内9市町12校の研究委託校・実践校との「共同研究」や各種研修講座、研究紀要の発行等に努めてまいります。所員は、3名が入れ替わりましたが、今年度も10名体制で協力し、関係機関との連携を密にしながら、現場のニーズに応える情報発信ができるよう心がけて取組を進めてまいりますので、ご支援ご協力をどうぞよろしくお願いいたします。

所 長 土 井 嘉 啓 (登別市立若草小学校)

副 所 長 立 花 和 実 (伊達市立伊達中学校)

事務局 長 高 橋 賢 治 (登別市立富岸小学校)

事務局 次 長 村 井 淳 一 (伊達市立伊達中学校)

所 員 本 所 章 宏 (伊達市立伊達小学校)

所 員 武 田 成 永 (登別市立緑陽中学校)

所 員 牛 島 夏 陽 (伊達市立東小学校)

所 員 宮 崎 雄 太 朗 (伊達市立光陵中学校)

所 員 石 井 芳 政 (登別市立若草小学校)

所 員 藤 田 宣 夫 (白老町立萩野小学校)

事務職員 水 留 恵 美 子

企画・運営

● 夏季研修講座(ミニ道研)

「実践から学ぼう!授業づくり・学級経営・道徳教育」
胆振教育局 8月8日(木)実施予定

● 冬季研修講座

「通常学級における特別支援教育」
登別市民会館 令和2年1月9日(木)実施予定

.....
現職のニーズに応じ、指導力の向上につながる講座を企画してまいります。

合同研修会

本研究所の研究推進計画の説明や研究委託校・実践校の研究の概要、研修推進の課題・成果について交流してまいります。

.....
第1回 5月21日(火)実施 第2回 11月26日(火)実施予定

所員訪問

研究委託校・実践校との連携

研究委託校・実践校の研究にかかわって、共に学び、情報の提供を行います。

共同研究

校内研修・公開研究会への参加・協力

随時

胆振教育研究所の事業

胆振教育研究所

- **所員研修会** _____ ●
事業の検討・実施...所員10名
- **場所** _____ ●
カント・レラ(4~11月)
登別市民会館(12~3月)

カント・レラの閉鎖に伴い、年度途中で登別市民会館に場所を移すこととなります。

作成・提供

刊行物・紀要

- 今日的な教育課題等を踏まえ、日々の教育活動に結び付く実践的な研究を進めています。
- 各校の実践により役立つような紀要等の発行に努めてまいります。ぜひ、ご活用ください。

2月発行予定

広報活動

研究委託校・実践校の特色ある教育活動や優れた取組、本研究所の活動内容をわかりやすくお伝えしてまいります。

- 教育いぶり...年2回 ● 所報いぶり...年5回
- ホームページ...随時更新 <http://www.iburi-education.jp>

■ 支えていただく9市町

・登別市 ・伊達市 ・豊浦町 ・洞爺湖町
・壮瞥町 ・白老町 ・安平町 ・厚真町 ・むかわ町

■ 理事会

9市町教育長で構成。研究所の組織運営に関することを決定します。

■ 運営委員会

各市町教育研究会の代表者、胆振教育局、へき地複式教育連盟代表者、社会教育代表者で構成。各事業推進に向けた支援など、研究所と各市町や関係機関を結ぶ役割を担っています。必要に応じて開催します。

研究所退任者挨拶

前事務局次長 岡元 優 (安平町立追分中学校 教頭)

3年間、胆振教育研究所の所員として、貴重な経験をさせていただきました。学校現場での課題をとらえた調査課題研究や理論課題研究、夏季・冬季に行われる研修講座の企画・運営など本教育研究所の多くの活動を通して、私自身大変勉強させていただきました。また、実践校や委託校への学校訪問では、先生方が自校の研究に向き合い熱心に実践している姿から、自分の視野を大きく広げる機会となりました。今後は胆振教育研究所での経験を生かし、胆振管内の教育発展に貢献できるよう努めてまいります。

胆振教育研究所に対し、ご支援・ご協力をいただきました関係各位の皆様にご心よりお礼申し上げます。ありがとうございました。

前所員 増永 真衣 (伊達市立光陵中学校 教諭)

4年間の任期を終え、胆振教育研究所の所員を退任することとなりました。この4年間に、研修講座、研究紀要、機関誌「教育いぶり」、理論研究を担当し、ご協力いただいた先生方の実践から様々な視点で学ぶことができました。学校訪問においては、助言者としての力不足を反省すると同時に、共同研究員として学ぶ機会をいただけたことに感謝しております。また、勤務校では学級担任をしており、胆振教育研究所で学んだことを道徳科や教科の授業にいち早く取り入れられたことは、所員をやっている良かったと思うことの一つです。

これからも所員としての経験を生かし、日々研鑽に励んでいきます。最後になりましたが、お世話になった皆様にご心より感謝申し上げます。ありがとうございました。

前所員 板垣 恭兵 (登別市立幌別小学校 教諭)

この度、胆振教育研究所の所員を退任することとなりました。1年間という短い期間ではありましたが、大変貴重な経験をさせていただきました。特に学校訪問では、熱い思いをもって研究に向かう先生方の姿に刺激を受け、私自身「もっと学ばなければ。」という思いをもつことができました。

今後は、所員としての経験を生かし、胆振管内の教育に少しでも寄与できるよう、日々研鑽に励んでいこうと思います。短い間でしたが関係各位の皆様には大変お世話になりました。本当にありがとうございました。